

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 14 日作成)

小委員会名	住宅ストック小委員会	主 査 名：齊藤広子 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：石坂 公一 主 査 名：
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築ストック時代の住宅を取り巻く、建築社会システムの在り方の検討 ・ 他の小委員会・委員会および他分野の研究者・学者・実務家との交流による学際的な研究の実施 ・ 実践にむけた、あらたな学問・研究領域の開拓 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	齊藤広子 (明海大学)、村上心 (椙山女学園大学)、李祥準 (首都大学東京)、加藤浩司 (有明工専)、柴田建 (九州大学)、関栄二 (AGデザイン)、高屋 宏 (市浦ハウジング&プランニング)、丁志映 (千葉大学)、辻壽一 (大阪樟蔭女子大学)、橋本 真一 (建設物価調査会)、長谷川洋 (国総研)、濱中冬行 (アイビーエー環境工学研究所)、森田芳朗 (東京工芸大学)、山本理 (街と住まいの研究室)	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>戸建住宅地 WG：戸建住宅地の再生・管理について、建築社会システムの整備に向けて、諸外国及びわが国の実態把握等の基礎的な調査検討を行う。</p> <p>住宅流通 WG：既存住宅の流通について流通時の情報提供のあり方や住宅の性能検査等の社会システム整備に向けて諸外国及び日本の実態把握等の基礎的な調査検討を行う。</p> <p>集合住宅 WG：区分所有の集合住宅だけでなく、賃貸集合住宅も対象とし、集合住宅の管理・維持保全・資産価値向上・終焉法の検討を行う。また、区分所有という概念にとらわれず、利用の観点からマンション再生の新たな手法の検討を実施する。併せて、諸外国のシステムについての研究を行う。</p>	
2013 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： 無

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	1. マンション再生の可能性と限界ー建築社会システムはどう再編すべきか? 参加者数 約 150 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. プロパティマネジメント小委員会との共同で大会協議会の実施 2. 大会協議会に、法学者・弁護士、実務家をパネラーに迎えての活発な議論の展開 3. 実践にむけた具体的な提案の実施 上記のように概ね目標は達成できている
委員会活動の問題点・課題	1. 首都圏以外の委員の参加の低下 2. 会員以外の報告者をおよびする場合は謝金等の問題